

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	施設型給付・地域型保育給付事業	会計名称	一般会計		担当課	子育て支援課	
		予算科目	3 款 2 項 4 目	事業番号	1760	所属長名	太森真喜恵
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	山本定伸	
法令根拠等	児童福祉法、学校教育法、認定こども園法				実施期間	【開始】	令和/平成 27 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 次代を担う子供たちの育成支援					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	総合計画の政策を達成するために、次代を担う子供たちの育成支援を推進した。						
事業の対象	施設型給付事業：保育所・幼稚園・認定こども園 地域型保育事業：小規模保育・家庭的保育・居宅訪問型保育・事業所内保育			事業の目的	教育・保育の実施に係る費用を給付することにより、適正な教育・保育運営を図る。		
事業の内容 (整備内容)	特定教育・保育施設を利用する児童について、国の公定価格に基づき、教育・保育運営の費用を施設に給付する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	事業規模を精査し、予算の適切な確保に努める。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	504,575	782,198	△ 5,689	0	0	759,011	施設型・地域型給付施設	箇所	28	25	21	24
国庫支出金	224,201	364,624	△ 3,372	0	0	353,915						
県支出金	122,638	192,431	△ 2,563	0	0	181,740						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	18,434	19,033	0	0	0	107,116						
一般財源	139,302	206,110	246	0	0	116,240						
職員の人工(にんく)数	0.35	0.70				0.70						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812			0			
※ 直接事業費+人件費	507,372	787,666				764,479						
主な実施主体	委託		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		委託料 219,721,190円 負担金 513,554,687円				0			
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
					773,891	773,891	773,891	773,891	773,891	3,869,455		
成果指標	指標	施設型給付及び地域型保育給付事業の対象施設数			単位	区分年度	前年度	2年度	3年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	子ども・子育て支援新制度では、市町村の確認を受けた施設・事業に対して、財政支援(施設型給付及び地域型保育給付)を保障している。給付については、保護者への個人給付を基礎とし、確実に教育・保育に要する費用に充てるため、保護者に直接給付せず市から利用施設などへ直接支払う仕組み(法定代理受領)となっていることから、対象施設数を成果指標とする。			箇所	⇒	目標	25	25	25	25	
							実績	28	24			
指標で表せない効果												

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		幼児教育・保育の無償化による入所児童の増加や民営化により、事業費が増加傾向にある。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	事業費は増加傾向にあるものの、民営化による市の運営費の節減により、継続的な保育提供の確保を図ることができた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげていない。	4						
	効率性	手段の最適性	最善な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	今後も事業費の増加が予想されることから、適切な給付費算定に努める必要がある。				
			コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。					4		
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	4							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			A	事業の方向性 所屬長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 施設型給付及び地域型給付事業は、国の制度に基づくものであり、今後も事業を継続していく必要がある。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげていない。	4							
効率性	手段の最適性	最善な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	幼児教育及び保育の無償化の影響などにより、今後も事業費が増大していくものと考えられる。高まる保育ニーズに対応するため、私立施設長会にて情報共有を行い、連携を強化していく必要がある。					
		コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。				4				
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 幼児教育・保育の無償化の影響等を踏まえ本事業の必要性は高いが、各施設間の連携不足が伺えるため私立幼保連携協議会を設置した。しかしながら、長期化するコロナ禍の影響を踏まえ開催されていないこと等から、今後連携手法等を検討し、更なる子育て支援策の充実に努める必要がある。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。		